

新しい交流の場として

新しい交流の場として

11月28日(火)、ビッグバンで、石巻地域グリーン・ツーリズム研修会が開催されました。

グリーン・ツーリズムとは、農林漁業に携わる方が、レストランや民宿を経営したり、産地直売所などで自家作物を販売したりすることで、都市から訪れる観光客などと交流を楽しむという、都市と農村との交流活動のことをいいます。

この研修会は、先進的に活動を行っている方々を講師に迎え、石巻地域での取り組みに興味・関心を持ってもらうことを目的に行われたものです。

当日は、農家レストランの経営者や山形県で交流体験施設の経営をされている方の講話に、参加者は真剣に耳を傾けていました。また、石巻地域の食材を使った「ホタテご飯」は「汁も振る舞われ、地域の料理を味わいながらの研修会となりました。」



雄勝地区

全国初！ 航行援助協力団体に指定



大須灯台の近隣住民で組織するボランティアア団体「大須灯台会」は、灯台記念日の11月1日(水)、第二管区海上保安本部長より航行援助協力団体に指定され、代表の米倉勇二さんが名誉灯台長の認定を受けました。

これは、灯台周辺の清掃活動などの美化運動や灯台を一般公開する際の協

力など、海上保安業務への支援・協力などに貢献しているボランティア団体を、航行援助協力団体として指定し、その代表者を名誉灯台長に認定するものです。今回、その第1号として大須灯台会が指定を受けたものです。

大須灯台会は、大須灯台の近隣住民による灯台周辺の環境整備活動が徐々に拡大し、平成13年7月22日に設立されました。以来、灯台周辺の樹木伐採や除草、植栽などを年に数十回行っています。この度の認定は、日ごろの地道な活動を認められてのことで、会員をはじめ、地元の方々も喜んでいました。これを機会に、今後さらに団結し、奉仕活動を続けて欲しいと期待されています。

河南地区

サバメシ？の極意

11月19日(日)、河南婦人防火クラブ連絡協議会が、遊楽館を会場に有事の際を想定した研修会を開催しました。

協議会ではこのような活動を毎年開催しており、今年は天本消防署河南出張所の職員から地震などの災害が発生した場合の対応を研修した後に「サバメシ」＝サバイバルメシ炊き法を実践しました。

この「サバメシ」は、大災害時にライフラインが寸断され、普段通りの生活が復旧するまでの間、不自由な生活を余儀なくされることを想定し考えられたものです。

一人分の炊飯に要する準備物は、3

50ミリリットルのアルミ缶2個(かまど、鍋として使用)、1リットルの牛乳パック3枚(燃料として使用)、アルミホイル(鍋蓋として使用)、米0.8合、水、ライター(マッチ)、軍手です。作り方は、まず、鍋缶に米と水を入れアルミホイルで覆います。次に空気穴を開けたかまど缶へ牛乳パックに火をつけ約25分程度燃やし、数分蒸らしてできあがりです。



桃生地区

チームワークの勝利



山形・宮城両県から8チームが出場し、「第2回山形羽陽ライオンズクラブ杯少年女子ソフトボール大会」が10月29日(日)、山形リトルリーググラウンドで開催され、中津山一小ソフトボール少年団が優勝しました。中一小ソフトは、11人という少ない人数ながらも、チームワークのよさで他のチームを圧倒。決勝戦でも、ミラクルキッズ(山形県白鷹町)を相手に8対5で快勝しました。

【出場選手】

- 佐々木 和さん 高橋明日香さん
- 阿部英里子さん 佐々木美季さん
- 藤田 紗妃さん 佐藤 望美さん
- 平井 水生さん 西條 汐里さん
- 松本 紗季さん 松本 穂花さん
- 阿部ほのかさん



このコーナーでは、催し物やまちのできごと、地域の情報などを紹介します。

牡鹿地区

当日は、表浜漁業協同組合から旬の殻付きカキ15,000個が無償で提供され、炭火焼きやカキ汁として振舞われたほかに、ワジラの焼肉コーナーなどもあり、訪れた多くの家族連れや



「カキの日」、おしかホエーランド前広場を会場に、「第7回おし

牡鹿の海の幸がらっぽる!

かまるごと浜っこまつり」が開催されました。

観光客は、牡鹿ならではの味覚に舌鼓を打っていました。その他にも、海の幸が格安で購入できる販売コーナーもあり、両手いっぱい買い物を下げている姿が多く見受けられました。



また、カキやワジラなど「牡鹿の海の幸の詰め合わせセット」が当たる抽選会が行なわれ、当選番号が読み上げられるたびに、歓声が聞こえ、会場は大いに盛り上がっていました。

北上地区

11月16日(木)、北上地区小中学校音楽会が、北上中学校体育館を会場に開催されました。

音楽会には、小学校3校と中学校2校の児童生徒が参加し、全員合唱の「ブリーブ」からステージが始まりました。



和太鼓の「相川白波太鼓」や琴の演奏の「飛躍」、合唱では「世界が一つになるまで」やミュージカル「キャッツ」が披露されました。この日のために練習を重ねてきた歌

心をひとつにして！歌声ひびき...

声に、会場からは大きな拍手が送られていました。



石巻地区

25日は、支倉常長「慶長遣欧使節」がロームに向けて出帆した月浦や牡鹿ホエールランド、牡鹿交流センター「HOT」の「なごを見学しました。

11月15日(水)と25日(土)の両日、市政モニター研修会が開催されました。これは、新しい石巻市を広く視察していただき、見聞を広めることもに理解を深めていただくために開催されたものです。

「HOT」見学に感嘆!

特に牡鹿交流センターでは、鯨専門の蔵書が備えられた図書館や水深を自由に調整できる温水プール、太平洋が展望できる風呂、トレーニング場などの素晴らしい施設に感心し、多くの市民に広めて行きたいと意気込んでいました。



中瀬にある石ノ森美術館を彩る「マ



川面に映えるクリスマスイルミネーション

ンガタンイルミネーション2006」が、2日(土)から始まり、宇宙船をイメージした美術館が美しく華やかな光に包まれました。(大みそかまで) 点灯式では、カウントダウンが行なわれ、子どもたちが点灯ボタンを押し、イルミネーションが輝き始めました。このイルミネーションのうち発光ダイオードの電飾約2,000個は、石巻工業高等学校の生徒が授業の一環として製作したもので、仮面ライダーとロボコンがデザインされました。訪れた人は、川面に映えるきれいなイルミネーションを見て、ロマンティックな光景にうっとりしていました。